

第6章 循環利用量の推移等

6.1 循環利用量と素材産業

平成20年度の循環利用量24,630万トンと、鉄鋼業、非鉄精錬、セメント産業、製紙業の4産業が利活用している廃棄物・副産物量を整理する表6-1-1のとおりであり、この4産業は循環利用量の36.7%を担っている。

産業別にみると、鉄鋼業が13.6%、非鉄精錬が0.6%、セメント産業が12.0%、製紙業が10.5%となっている。

表6-1-1 循環利用量と素材産業

(単位:万t/年)

発生時の種類	廃棄物・副産物活用量(2008)						我が国全体 (2008) 循環量 (b)
	鉄鋼	非鉄精錬	セメント	製紙	4産業計 (a)	4産業のシェア (a/b)	
燃え殻/ばいじん	0	30	837	0	868	56.6%	1,532
汚泥	0	13	326	0	339	19.1%	1,771
廃油	0	13	41	81	135	73.8%	182
廃酸/廃アルカリ	0	25	0	0	25	14.0%	181
廃プラスチック類	32	34	56	55	176	40.2%	438
紙くず	0	0	0	2,221	2,221	98.2%	2,263
木くず	0	0	41	151	192	30.6%	627
動植物性残さ/食品廃棄物/厨芥	0	0	6	0	6	1.0%	601
金属類	3,307	2	0	0	3,309	70.6%	4,688
ガラス陶磁器くず	0	2	0	0	2	0.2%	774
鋳さい、スラグ	0	0	1,310	0	1,310	28.2%	4,640
その他	0	39	331	74	443	6.4%	6,932
活用量計	3,339	158	2,947	2,593	9,036		24,630
4産業のシェア(a/b)	13.6%	0.6%	12.0%	10.5%		36.7%	

注) 製紙業においては、ペーパーラジの燃料利用量は含まれていない。

1) 鉄鋼(廃プラスチック類)、非鉄精錬、セメントの廃棄物・副産物は、環境自主行動計画〔循環型社会形成編〕-2009年度フォローアップ調査結果<個別業種版>、社団法人日本経済団体連合会より引用

2) 鉄鋼(金属類)の廃棄物・副産物は、鉄鉄及び鉄スクラップ需給実績(社団法人日本鉄源協会)より、鉄屑需給の供給のうち国内市中分を計上した。

3) 製紙(紙くず)の廃棄物・副産物は、2009年古紙需給統計(財団法人古紙再生促進センター)の、古紙回収率推移(表3)の古紙回収量を計上した。

4) 製紙の廃棄物・副産物は、環境自主行動計画〔温暖化対策編〕-2009年度フォローアップ調査結果(2008年度実績)<個別業種版>、社団法人日本経済団体連合会より引用

6.2 廃棄物別の循環利用量の推移

平成12年度から平成20年度までの再生利用量、減量化量、最終処分量、自然還元量の推移について、廃棄物別に以下に整理した。

(1) バイオマス系の循環利用量の推移

① 紙くず

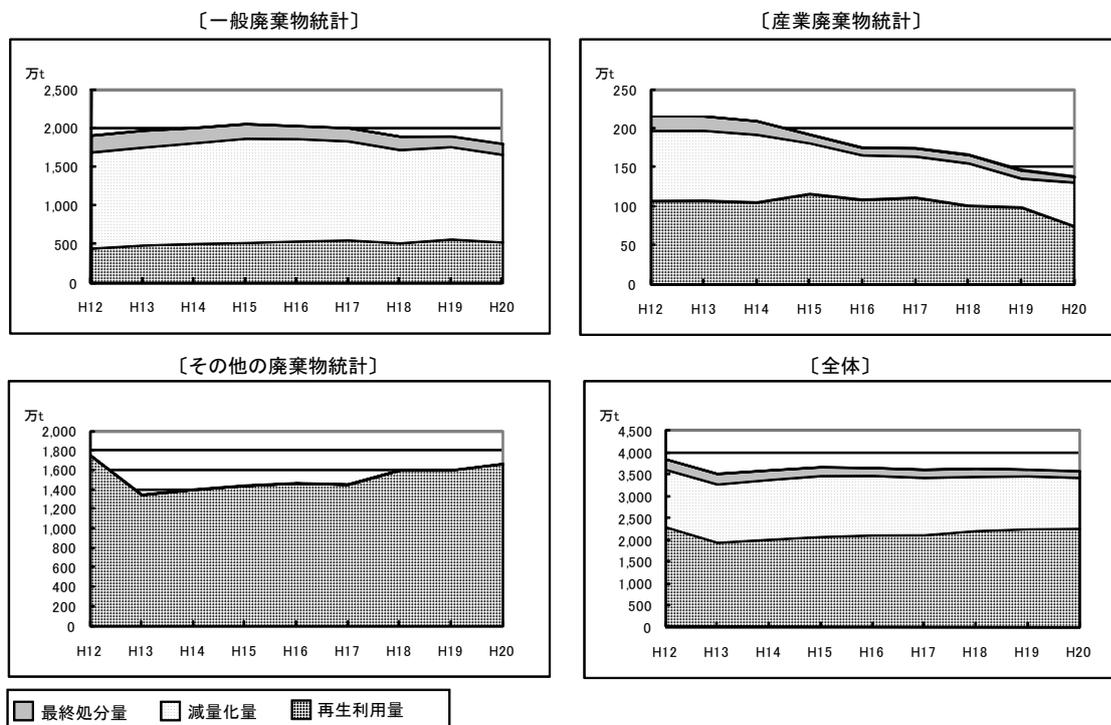
紙くずの循環利用量等は、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と古紙に関するその他の統計データから推計されている。

なお、産業廃棄物統計では、紙くずが有償物化することで産業廃棄物統計データから除外されるため減少となっているが、この減少分は、古紙に関するその他の統計データから補完されるため、全体では、平成13年度以降再生利用量は微増傾向となっている。

図表 6-2-1 紙くずの循環利用量等の推移

(単位: 万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率	構成比
		一般統計	排出量	1,904	1,968	2,004	2,053	2,028	2,001	1,890		
	再生利用量	448	489	507	522	540	554	516	565	527	29%	23%
	減量化量	1,236	1,260	1,297	1,341	1,319	1,275	1,199	1,188	1,127	63%	95%
	最終処分量	221	220	200	191	169	172	175	139	140	8%	95%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
産業統計	排出量	216	216	210	192	176	175	166	147	138	100%	4%
	再生利用量	107	107	105	116	109	111	101	99	74	54%	3%
	減量化量	90	90	87	65	57	52	54	36	56	40%	5%
	最終処分量	19	19	18	11	10	11	11	11	8	6%	5%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他統計	排出量	1,749	1,347	1,399	1,441	1,464	1,452	1,597	1,597	1,661	100%	46%
	再生利用量	1,749	1,347	1,399	1,441	1,464	1,452	1,597	1,597	1,661	100%	73%
	減量化量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最終処分量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	排出量	3,869	3,531	3,613	3,686	3,668	3,627	3,654	3,629	3,594	100%	100%
	再生利用量	2,304	1,943	2,012	2,078	2,113	2,117	2,214	2,255	2,263	63%	100%
	減量化量	1,326	1,349	1,384	1,406	1,375	1,327	1,253	1,224	1,183	33%	100%
	最終処分量	240	238	217	202	180	183	187	150	148	4%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



注) [その他の廃棄物統計] データは、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

②厨芥、動植物性残さ

厨芥、動植物性残さの循環利用量等は、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と食品リサイクルに関するその他の統計データから推計されている。

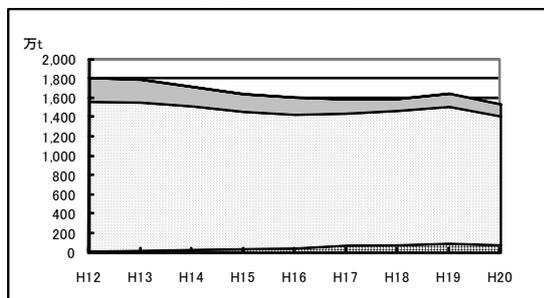
なお、食品リサイクルに関するその他の統計データによる補完は、平成14年度から行われている。排出量は横ばい傾向にあるが、再生利用量は増加傾向となっている。

図表 6-2-2 厨芥、動植物性残さの循環利用量等の推移

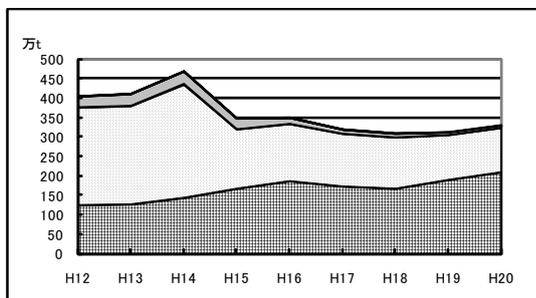
(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率	構成比
一 廃 統 計	排 出 量	1,804	1,787	1,713	1,638	1,604	1,587	1,589	1,643	1,533	100%	70%
	再 生 利 用 量	13	21	30	38	46	76	79	94	78	5%	13%
	減 量 化 量	1,545	1,530	1,481	1,418	1,379	1,362	1,388	1,413	1,332	87%	92%
	最 終 処 分 量	246	236	202	183	179	149	123	136	124	8%	95%
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
産 業 廃 棄 統 計	排 出 量	405	411	468	349	351	321	311	314	332	100%	15%
	再 生 利 用 量	126	128	145	168	188	174	168	191	210	63%	35%
	減 量 化 量	251	253	291	153	147	136	133	116	115	35%	8%
	最 終 処 分 量	28	30	32	28	16	11	11	8	7	2%	5%
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 統 計	排 出 量	0	0	132	146	151	174	251	176	313	100%	14%
	再 生 利 用 量	0	0	132	146	151	174	251	176	313	100%	52%
	減 量 化 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最 終 処 分 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	排 出 量	2,209	2,198	2,314	2,133	2,106	2,082	2,151	2,134	2,178	100%	100%
	再 生 利 用 量	139	149	307	351	385	424	497	461	601	28%	100%
	減 量 化 量	1,796	1,783	1,773	1,572	1,527	1,499	1,520	1,529	1,446	66%	100%
	最 終 処 分 量	274	266	234	210	195	160	134	144	131	6%	100%
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

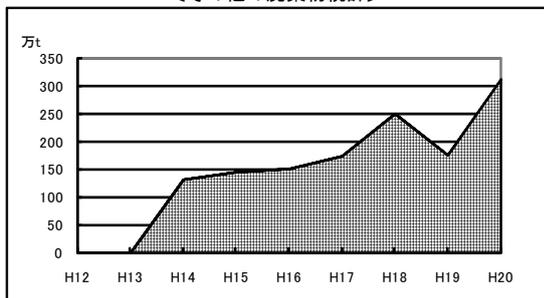
〔一般廃棄物統計〕



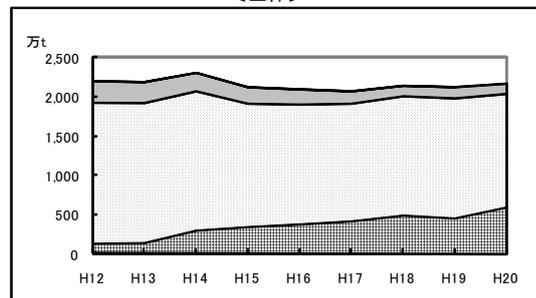
〔産業廃棄物統計〕



〔その他の廃棄物統計〕



〔全体〕



■ 最終処分量 □ 減量化量 ■ 再生利用量

注) 〔その他の廃棄物統計〕データは、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

③木竹草、木くず

木竹草、木くずの循環利用量等は、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計とその他の統計データから推計されている。

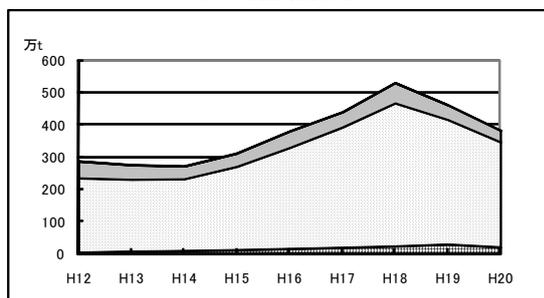
全体では、平成14年度以降、排出量及び再生利用量とも増加傾向となっている。

図表 6-2-3 木竹草、木くずの循環利用量等の推移

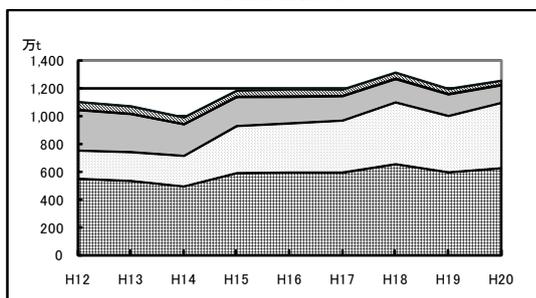
(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率		構成比	
一 廃 統 計	排 出 量	287	276	272	312	380	439	530	461	382	100%	33%		
	再 生 利 用 量	3	7	9	11	16	18	23	29	19	5%	3%		
	減 量 化 量	231	223	223	259	312	374	444	387	326	85%	72%		
	最 終 処 分 量	53	46	41	42	52	47	63	46	37	10%	56%		
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
産 業 廃 棄 物 統 計	排 出 量	551	536	496	592	596	595	655	597	626	100%	55%		
	再 生 利 用 量	206	211	223	341	356	377	447	408	472	75%	75%		
	減 量 化 量	290	272	226	207	190	174	166	155	125	20%	28%		
	最 終 処 分 量	55	52	48	43	51	45	42	35	29	5%	44%		
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
そ の 他 統 計	排 出 量	-	-	-	-	-	-	-	-	136	100%	12%		
	再 生 利 用 量	-	-	-	-	-	-	-	-	136	100%	22%		
	減 量 化 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	最 終 処 分 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
全 体	排 出 量	838	811	768	903	976	1,034	1,185	1,058	1,144	100%	100%		
	再 生 利 用 量	209	218	231	353	371	395	470	436	627	55%	100%		
	減 量 化 量	521	495	449	466	502	548	610	541	451	39%	100%		
	最 終 処 分 量	108	98	88	85	103	92	105	81	66	6%	100%		
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

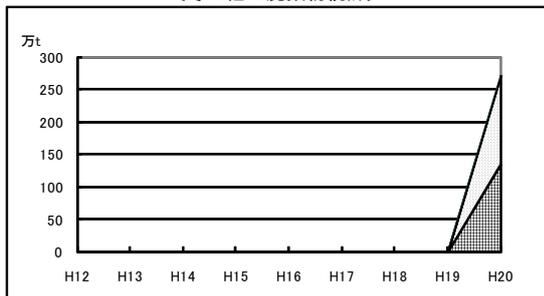
〔一般廃棄物統計〕



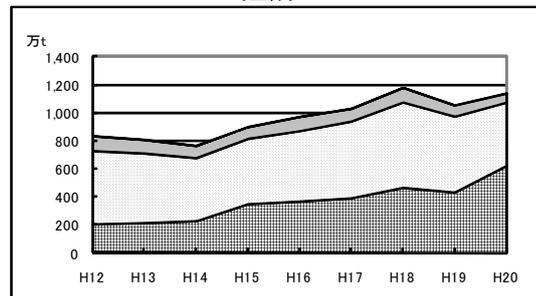
〔産業廃棄物統計〕



〔その他の廃棄物統計〕



〔全体〕



■ 最終処分量 □ 減量化量 ▨ 再生利用量

④繊維くず

繊維くずの循環利用量等は、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計とその他の統計データから推計されている。

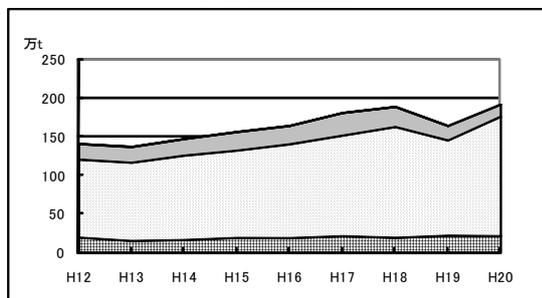
繊維くずの排出量は、全体の95%が一般廃棄物統計である。再生利用量は横ばいとなっている。

図表 6-2-4 繊維くずの循環利用量等の推移

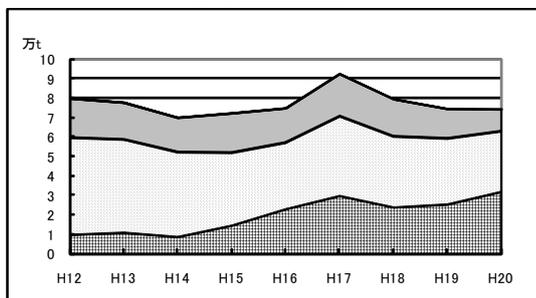
(単位:万t)

平成年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率		
										処理率	構成比	
一廃統計	排出量	141	137	148	156	169	181	189	164	192	100%	95%
	再生利用量	20	16	17	20	20	22	20	23	22	12%	79%
	減量化量	101	101	109	113	121	130	143	123	154	80%	98%
	最終処分量	20	20	21	24	24	29	26	19	16	8%	93%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
産業統計	排出量	8	8	7	7	7	9	8	7	7	100%	4%
	再生利用量	1	1	1	1	2	3	2	3	3	43%	11%
	減量化量	5	5	4	4	3	4	4	3	3	42%	2%
	最終処分量	2	2	2	2	2	2	2	2	1	15%	7%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他統計	排出量	6	5	7	5	4	0	7	2	3	100%	1%
	再生利用量	6	5	7	5	4	0	7	2	3	100%	10%
	減量化量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最終処分量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	排出量	155	150	161	169	180	190	203	174	202	100%	100%
	再生利用量	27	22	25	26	26	25	29	27	28	14%	100%
	減量化量	106	106	113	116	125	134	147	126	157	78%	100%
	最終処分量	22	22	23	26	25	31	28	20	17	8%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

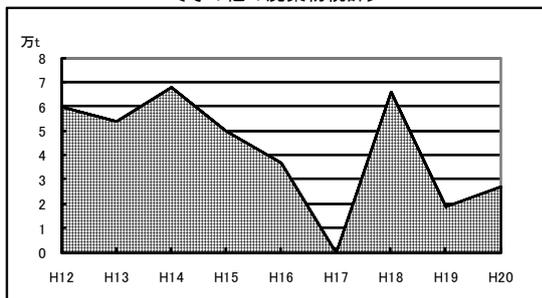
〔一般廃棄物統計〕



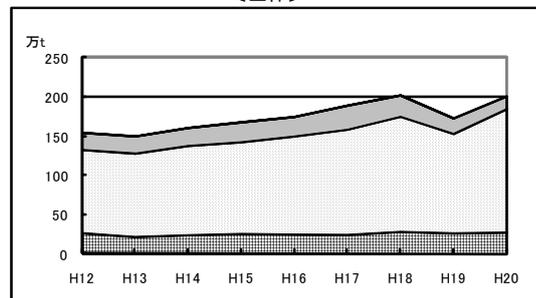
〔産業廃棄物統計〕



〔その他の廃棄物統計〕



〔全体〕



■最終処分量 □減量化量 ▨再生利用量

注)〔その他の廃棄物統計〕データは、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

⑤下水汚泥

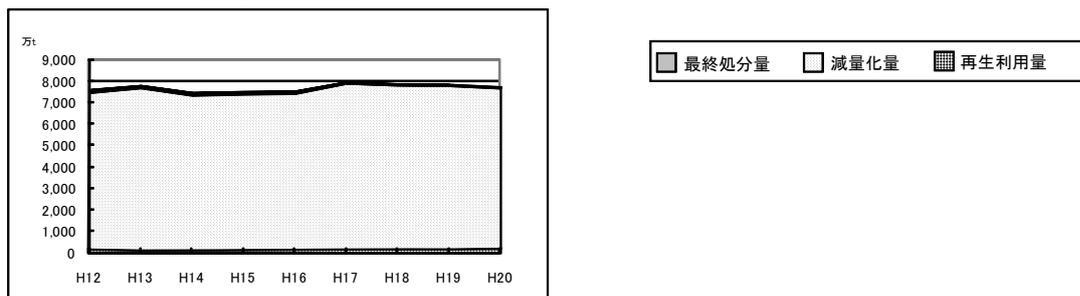
下水汚泥の排出量は、平成 17 年度以降、減少傾向となっている。一方、再生利用量は微増傾向にある。なお、最終処分量は減少傾向となっている。

図表 6-2-5 下水汚泥の循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率	構成比
産業統計	排出量	7,580	7,786	7,436	7,484	7,507	7,961	7,866	7,840	7,725	100%	
	再生利用量	191	147	157	163	175	207	196	204	232	3%	
	減量化量	7,294	7,554	7,206	7,250	7,269	7,698	7,626	7,596	7,455	97%	
	最終処分量	95	85	74	71	64	56	44	40	37	0%	
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔産業廃棄物統計〕



⑥し尿

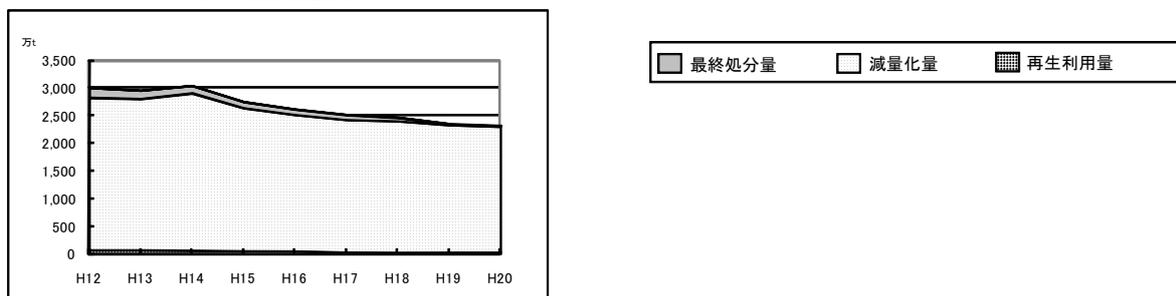
し尿の排出量は、減少傾向にある。最終処分量は、平成 19 年度で海洋投入処分がなくなったことから、大幅に減少となった。

図表 6-2-6 し尿の循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率	構成比
一般統計	排出量	2,997	2,949	3,034	2,745	2,613	2,515	2,465	2,350	2,321	100%	
	再生利用量	70	71	62	55	50	31	25	27	27	1%	
	減量化量	2,755	2,734	2,843	2,585	2,469	2,398	2,383	2,310	2,281	98%	
	最終処分量	172	144	129	105	93	85	57	13	12	1%	
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔一般廃棄物統計〕



⑦ ゴムくず

ゴムくずの循環利用量等は、産業廃棄物統計より推計されている。

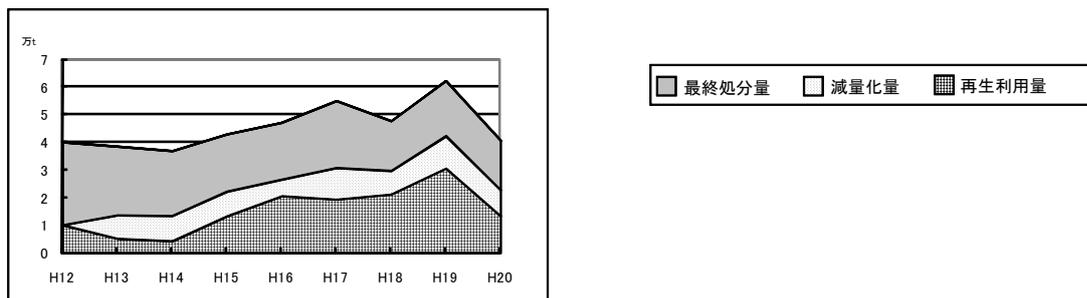
ゴムくずの排出量、再生利用量、最終処分量は平成 20 年度で減少している。

図表 6-2-7 ゴムくずの循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率	
産業 統計	排 出 量	4	4	4	4	5	5	5	6	4	100%	構成比
	再 生 利 用 量	1	1	0	1	2	2	2	3	1	33%	
	減 量 化 量	0	1	1	1	1	1	1	1	1	23%	
	最 終 処 分 量	3	2	2	2	2	2	2	2	2	44%	
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔産業廃棄物統計〕



⑧ 家畜ふん尿

家畜ふん尿の循環利用量等は、産業廃棄物統計より推計されている。

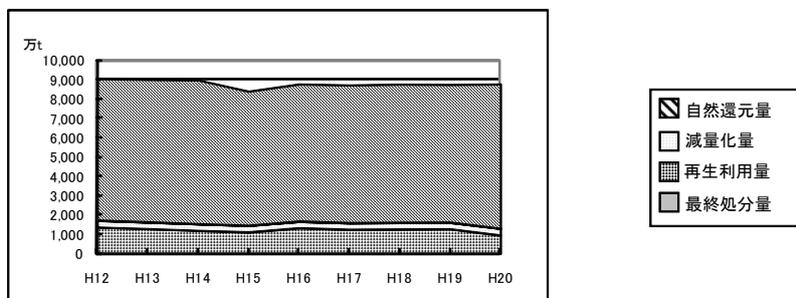
家畜ふん尿は、排出量、最終処分量、自然還元量とも横ばいで推移している。再生利用量は平成 20 年度では減少している。

図表 6-2-8 家畜ふん尿の循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率	
産業 統計	排 出 量	9,049	9,009	8,980	8,394	8,769	8,720	8,757	8,748	8,770	100%	
	再 生 利 用 量	1,357	1,269	1,181	1,092	1,315	1,237	1,249	1,260	933	11%	
	減 量 化 量	356	350	345	347	343	340	350	345	349	4%	
	最 終 処 分 量	4	4	4	3	4	4	4	4	4	0%	
	自 然 還 元 量	7,332	7,387	7,450	6,952	7,107	7,139	7,155	7,139	7,484	85%	

〔産業廃棄物統計〕



⑨家畜の死体

家畜の死体の循環利用量等は、産業廃棄物統計より推計されている。

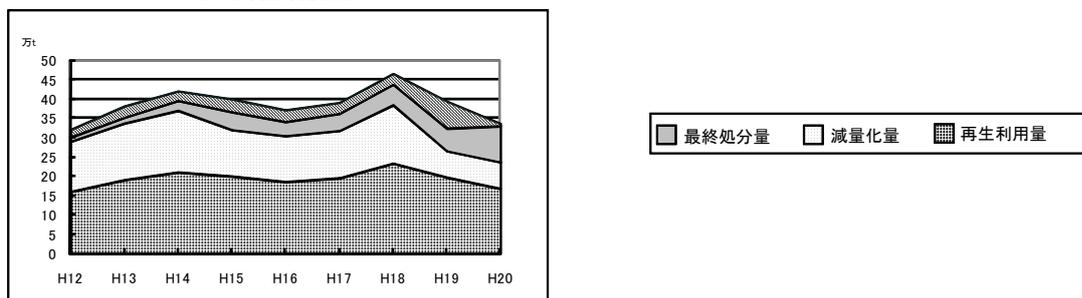
家畜の死体は、排出量、最終処分量は平成 20 年度で減少している。再生利用量はほぼ横ばいで推移している。

図表 6-2-9 家畜の死体の循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率	構成比
産業 廃 統 計	排 出 量	16	19	21	20	19	20	23	20	17	100%	
	再 生 利 用 量	13	15	16	12	12	12	15	7	7	41%	
	減 量 化 量	1	1	3	5	4	4	5	6	9	55%	
	最 終 処 分 量	2	3	3	3	3	3	3	7	1	3%	
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔産業廃棄物統計〕



⑩もみがら、稲わら、麦わら

もみがら、稲わら、麦わらの循環利用量等は、その他統計より推計されている。

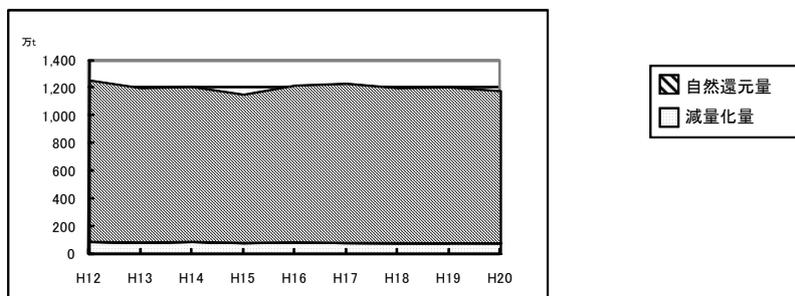
もみがら、稲わら、麦わらは、排出量、自然還元量ともほぼ横ばいで推移している。

図表 6-2-10 もみがら、稲わら、麦わらの循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率	構成比
その 他 統 計	排 出 量	1,252	1,197	1,205	1,150	1,216	1,229	1,197	1,203	1,176	100%	
	再 生 利 用 量										0%	
	減 量 化 量	88	82	88	79	84	79	78	77	77	7%	
	最 終 処 分 量										0%	
	自 然 還 元 量	1,165	1,115	1,117	1,071	1,132	1,150	1,119	1,126	1,099	93%	

〔産業廃棄物統計〕



(2)非鉄金属鉱物系の循環利用量の推移

①ガラス、陶磁器くず

ガラス、陶磁器くずの循環利用量等は、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計とガラスびん等に関するその他の統計データから推計されている。

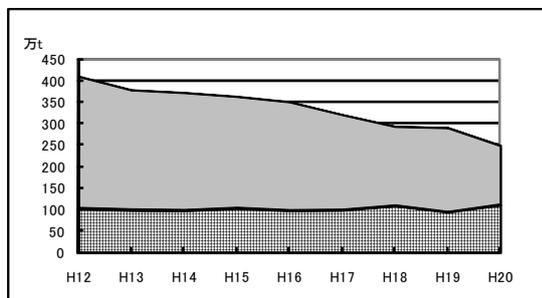
全体では、ここ数年、排出量、再生利用量とも横ばいの傾向となっている。

図表 6-2-11 ガラス、陶磁器くずの循環利用量等の推移

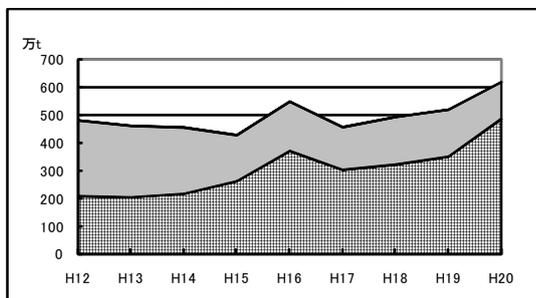
(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率	構成比
		一廃統計	排出量	410	378	372	363	350	320	293		
	再生利用量	102	99	98	103	98	99	109	95	112	45%	14%
	減量化量	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0%	100%
	最終処分量	306	278	272	258	251	220	183	195	136	55%	51%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
産業統計	排出量	480	461	454	427	547	456	492	518	617	100%	59%
	再生利用量	210	207	219	264	372	305	324	352	487	79%	63%
	減量化量	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%
	最終処分量	269	254	235	163	175	151	168	166	131	21%	49%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他統計	排出量	457	253	220	219	219	205	171	183	175	100%	17%
	再生利用量	457	253	220	219	219	205	171	183	175	100%	23%
	減量化量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最終処分量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	排出量	1,347	1,092	1,046	1,009	1,117	980	956	991	1,041	100%	100%
	再生利用量	769	559	537	587	689	609	604	630	774	74%	100%
	減量化量	3	2	1	1	1	1	0	0	0	0%	100%
	最終処分量	575	531	508	421	426	371	351	361	267	26%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

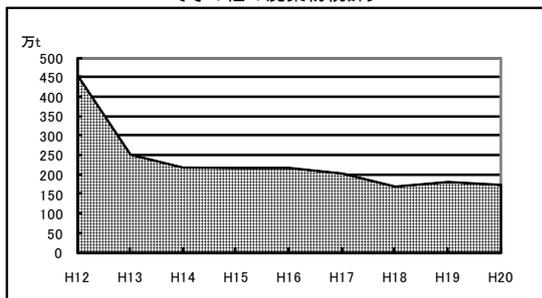
〔一般廃棄物統計〕



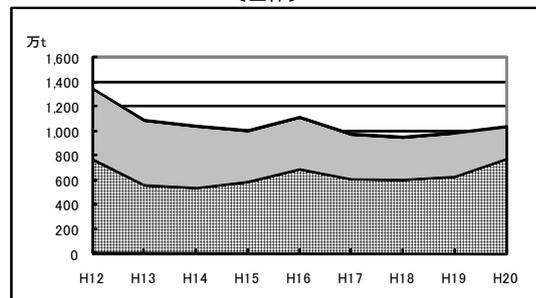
〔産業廃棄物統計〕



〔その他の廃棄物統計〕



〔全体〕



■ 最終処分量 □ 減量化量 ▨ 再生利用量

注) 〔その他の廃棄物統計〕データは、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

②燃え殻

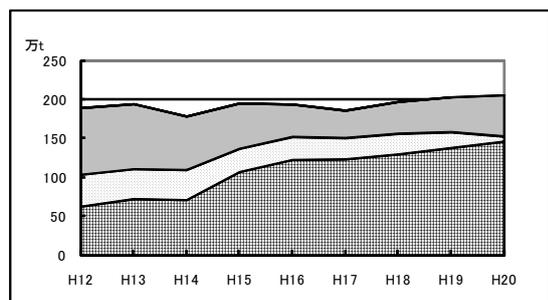
燃え殻の循環利用量等は、産業廃棄物統計とその他の統計データから推計されている。
 全体では、ここ数年、排出量、再生利用量とも平成18年度以降、微増傾向となっている。

図表 6-2-12 燃え殻の循環利用量等の推移

(単位:万t)

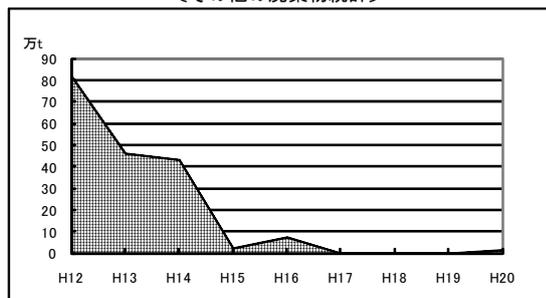
平成年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H20		
										処理率	構成比	
産業統計	排出量	189	194	178	195	194	186	197	203	205	100%	99%
	再生利用量	63	73	71	108	123	124	130	138	147	71%	99%
	減量化量	41	39	39	30	29	27	26	20	6	3%	100%
	最終処分量	85	83	68	58	41	35	40	44	52	25%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他統計	排出量	82	46	43	2	8	0	0	0	2	100%	1%
	再生利用量	82	46	43	2	7	0	0	0	2	100%	1%
	減量化量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最終処分量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	排出量	271	240	222	197	201	186	197	203	207	100%	100%
	再生利用量	145	119	115	110	131	124	130	138	148	72%	100%
	減量化量	41	39	39	30	29	27	26	20	6	3%	100%
	最終処分量	85	83	68	58	41	35	40	44	52	25%	100%
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔産業廃棄物統計〕

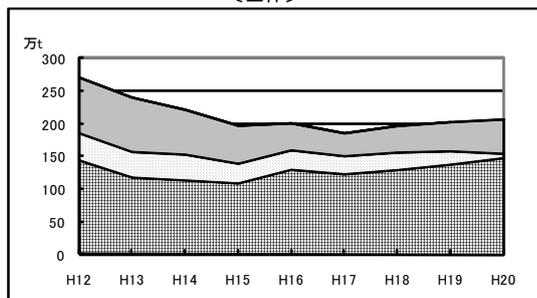


■ 最終処分量 □ 減量化量 ▨ 再生利用量

〔その他の廃棄物統計〕



〔全体〕



注) 〔その他の廃棄物統計〕 データは、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

③ばいじん

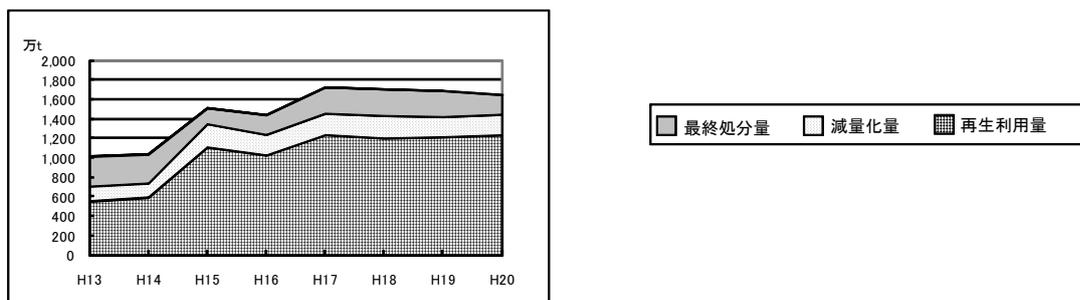
ばいじんの循環利用量等は、産業廃棄物統計とその他の統計データから推計されている。
全体では、排出量、再生利用量とも横ばいの傾向となっている。

図表 6-2-13 ばいじんの循環利用量等の推移

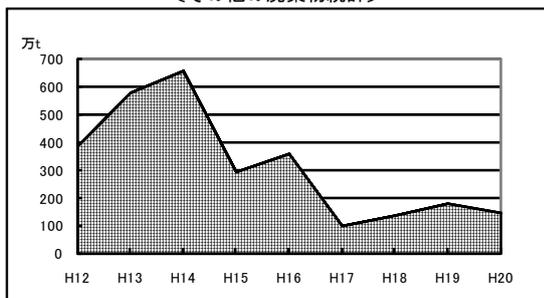
(単位:万t)

平成年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率		構成比	
										処理率	構成比		
産業統計	排出量	1,077	1,018	1,041	1,519	1,447	1,734	1,714	1,696	1,655	100%	92%	
	再生利用量	611	552	592	1,113	1,029	1,240	1,205	1,218	1,238	75%	89%	
	減量化量	84	159	151	242	215	222	235	210	214	13%	100%	
	最終処分量	382	307	298	164	203	272	273	269	203	12%	100%	
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他統計	排出量	386	579	658	293	359	99	136	180	146	100%	8%	
	再生利用量	386	579	658	293	359	99	136	180	146	100%	11%	
	減量化量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	最終処分量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全体	排出量	1,463	1,598	1,699	1,812	1,806	1,833	1,850	1,876	1,801	100%	100%	
	再生利用量	997	1,132	1,251	1,406	1,388	1,339	1,342	1,398	1,384	77%	100%	
	減量化量	84	159	151	242	215	222	235	210	214	12%	100%	
	最終処分量	382	307	298	164	203	272	273	269	203	11%	100%	
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

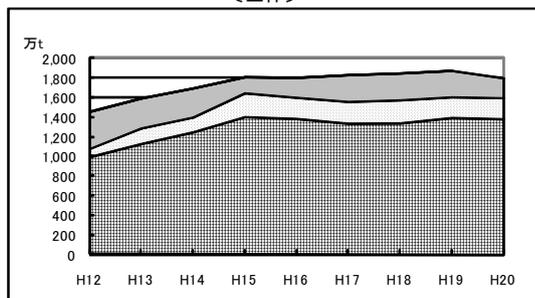
〔産業廃棄物統計〕



〔その他の廃棄物統計〕



〔全体〕



注) 〔その他の廃棄物統計〕 データは、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

④ 鉍さい

鉍さいの循環利用量等は、産業廃棄物統計とその他の統計データから推計されている。

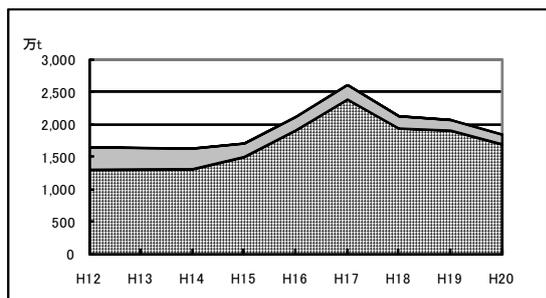
鉍さいは、主に鉄鋼業等から発生するものであり、再生利用量は、排出量の変動と同様に推移している。

図表 6-2-14 鉍さいの循環利用量等の推移

(単位:万t)

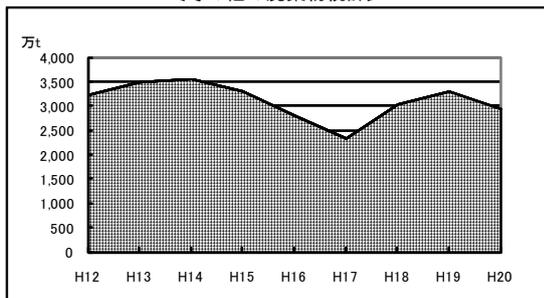
平成年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率		構成比	
										処理率	構成比		
産業統計	排出量	1,645	1,635	1,625	1,704	2,119	2,619	2,129	2,072	1,844	100%	39%	
	再生利用量	1,298	1,303	1,309	1,498	1,912	2,391	1,940	1,908	1,694	92%	37%	
	減量化量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	
	最終処分量	347	332	316	205	207	228	189	164	150	8%	100%	
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他統計	排出量	3,229	3,491	3,554	3,302	2,809	2,340	3,037	3,300	2,946	100%	61%	
	再生利用量	3,229	3,491	3,554	3,302	2,809	2,340	3,037	3,300	2,946	100%	63%	
	減量化量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	最終処分量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全体	排出量	4,874	5,126	5,179	5,006	4,929	4,959	5,166	5,372	4,790	100%	100%	
	再生利用量	4,527	4,794	4,863	4,800	4,721	4,731	4,977	5,208	4,640	97%	100%	
	減量化量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	
	最終処分量	347	332	316	205	207	228	189	164	150	3%	100%	
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔産業廃棄物統計〕

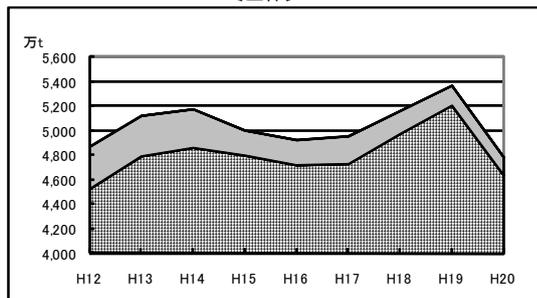


■ 最終処分量 □ 減量化量 ▨ 再生利用量

〔その他の廃棄物統計〕



〔全体〕



注) 〔その他の廃棄物統計〕 データは、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

⑤上水道汚泥

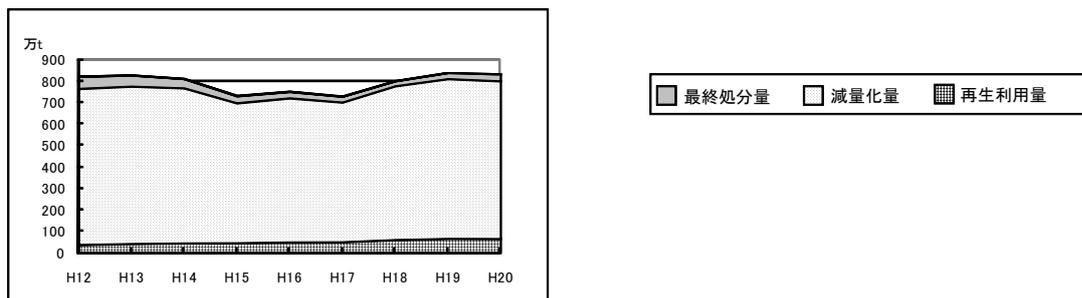
上水汚泥の再生利用量は、排出量の変動と同様に推移している。最終処分量は、平成18年度までは減少傾向、以降は微増傾向となっている。

図表 6-2-15 上水道汚泥の循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率	
産業統計	排出量	823	829	812	733	753	730	802	841	834	100%	構成比
	再生利用量	38	43	46	47	50	51	61	67	66	8%	
	減量化量	727	733	722	650	671	650	716	744	734	88%	
	最終処分量	58	53	45	36	32	29	25	30	33	4%	
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔産業廃棄物統計〕



⑥がれき類

がれき類の循環利用量等は、産業廃棄物統計から推計されている。

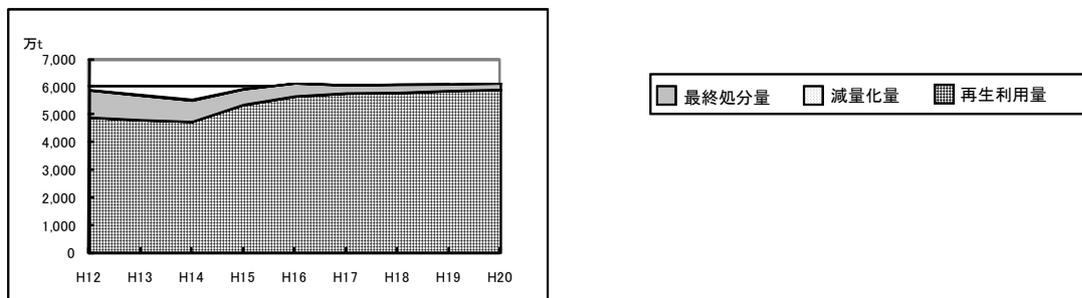
排出量は、横ばい傾向であるが、再生利用量は増加、最終処分量は減少傾向で推移している。

図表 6-2-16 がれき類の循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率	
産業統計	排出量	5,883	5,710	5,536	5,925	6,122	6,056	6,082	6,090	6,119	100%	構成比
	再生利用量	4,895	4,803	4,742	5,353	5,655	5,765	5,785	5,855	5,894	96%	
	減量化量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	
	最終処分量	988	907	795	572	467	291	297	235	225	4%	
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔産業廃棄物統計〕



⑦廃酸、廃アルカリ

廃酸、廃アルカリの循環利用量等は、産業廃棄物統計から推計されている。

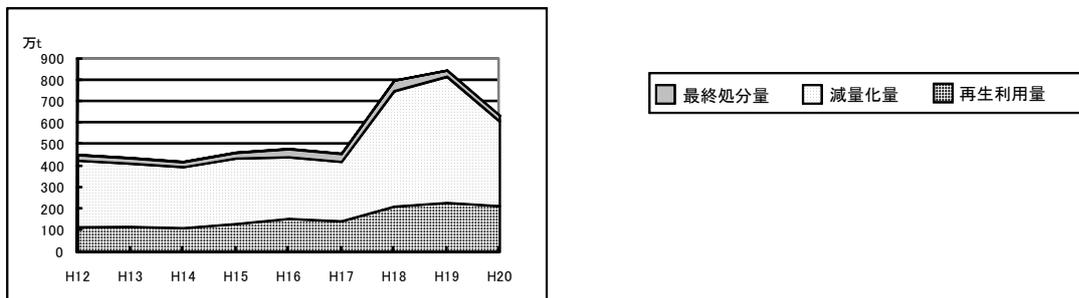
排出量は、平成18年度に大幅に増加しており、この増加にあわせて、再生利用量、最終処分量も増加となっている。

図表 6-2-17 廃酸、廃アルカリの循環利用量等の推移

(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率	構成比
産業 廃棄 統計	排 出 量	450	435	417	460	478	456	797	844	634	100%	
	再 生 利 用 量	115	117	111	130	154	143	211	229	213	34%	
	減 量 化 量	310	294	284	305	287	277	537	587	394	62%	
	最 終 処 分 量	25	24	22	25	37	36	48	28	27	4%	
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔産業廃棄物統計〕



(3) 金属系の循環利用量の推移

金属の循環利用量等は、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計とスクラップに関するその他の統計データから推計されている。

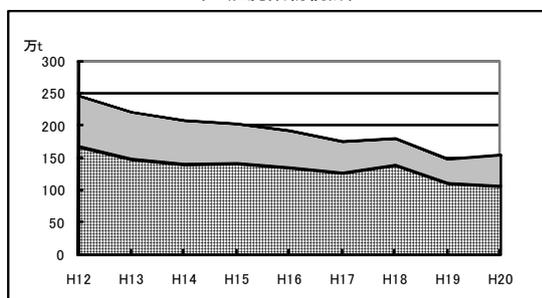
全体では、排出量の微増減で推移しており、同様に再生利用量にも推移している。なお、最終処分量は減少傾向で推移している。

図表 6-2-18 金属の循環利用量等の推移

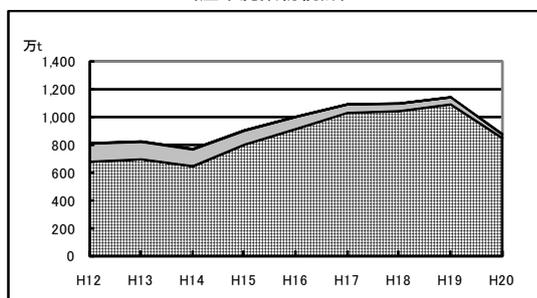
(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20			
											処理率	構成比	
一 廃 統 計	排 出 量	247	221	208	203	193	176	180	148	155	100%	3%	
	再 生 利 用 量	167	148	140	141	135	127	139	110	106	68%	2%	
	減 量 化 量	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0%	100%	
	最 終 処 分 量	78	73	68	61	57	49	42	38	49	32%	65%	
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
産 業 廃 棄 物 統 計	排 出 量	810	823	768	904	1,004	1,095	1,100	1,146	877	100%	18%	
	再 生 利 用 量	680	698	648	804	916	1,033	1,045	1,094	850	97%	18%	
	減 量 化 量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	
	最 終 処 分 量	130	126	120	101	88	61	55	53	27	3%	35%	
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 統 計	排 出 量	3,127	2,713	3,055	2,900	2,840	2,636	2,395	3,029	3,777	100%	79%	
	再 生 利 用 量	3,127	2,713	3,055	2,900	2,840	2,636	2,395	3,029	3,777	100%	80%	
	減 量 化 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最 終 処 分 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	排 出 量	4,184	3,758	4,032	4,007	4,037	3,906	3,676	4,324	4,809	100%	100%	
	再 生 利 用 量	3,974	3,558	3,843	3,845	3,891	3,796	3,579	4,233	4,733	98%	100%	
	減 量 化 量	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0%	100%	
	最 終 処 分 量	208	198	188	162	145	110	97	90	75	2%	100%	
	自 然 還 元 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

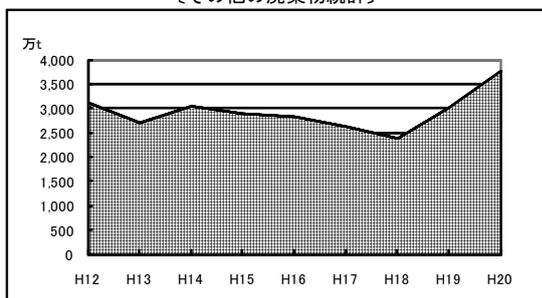
〔一般廃棄物統計〕



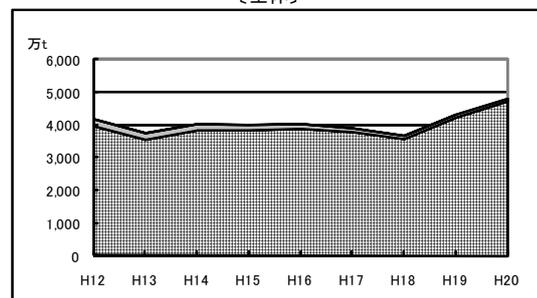
〔産業廃棄物統計〕



〔その他の廃棄物統計〕



〔全体〕



■ 最終処分量 □ 減量化量 ▨ 再生利用量

注) 〔その他の廃棄物統計〕 データは、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

(4) 化石系の循環利用量の推移

①プラスチック（ペットボトルを含む）

プラスチック（ペットボトルを含む）の循環利用量等は、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計とその他の統計データから推計されている。

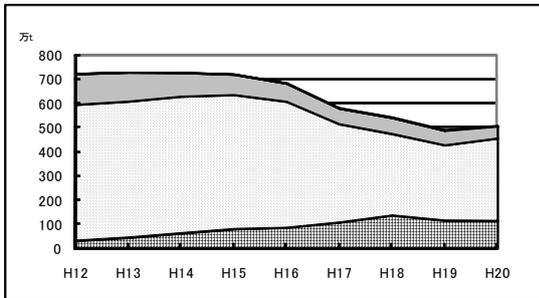
全体では、排出量は平成15年度以降、減少傾向にある。なお、再生利用量は増加、最終処分量は減少傾向で推移している。

図表 6-2-19 プラスチック（ペットボトルを含む）の循環利用量等の推移

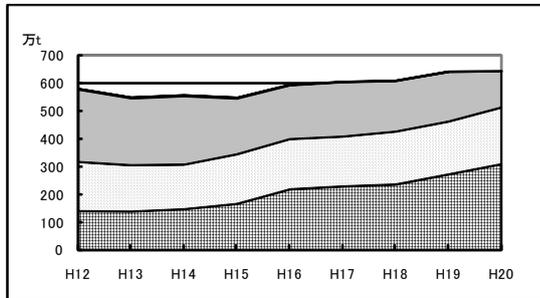
(単位:万t)

平成年度		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率		構成比	
一廃統計	排出量	720	726	725	718	681	579	541	488	506	100%	43%		
	再生利用量	31	45	62	80	86	107	136	115	113	22%	26%		
	減量化量	562	561	564	553	520	405	336	311	341	67%	62%		
	最終処分量	127	120	98	85	76	67	69	63	52	10%	28%		
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
産業統計	排出量	579	547	555	546	594	605	609	643	645	100%	55%		
	再生利用量	142	140	149	168	220	230	237	273	310	48%	71%		
	減量化量	177	167	160	179	181	180	191	191	204	32%	38%		
	最終処分量	260	240	246	200	193	195	182	179	131	20%	72%		
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他統計	排出量	0	113	130	64	37	0	4	0	14	100%	1%		
	再生利用量	0	113	130	64	37	0	4	0	14	100%	3%		
	減量化量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	最終処分量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	排出量	1,299	1,387	1,410	1,329	1,313	1,184	1,155	1,131	1,164	100%	100%		
	再生利用量	173	298	341	312	343	337	377	388	437	38%	100%		
	減量化量	739	728	725	732	701	585	527	501	545	47%	100%		
	最終処分量	387	361	344	285	269	262	251	242	182	16%	100%		
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

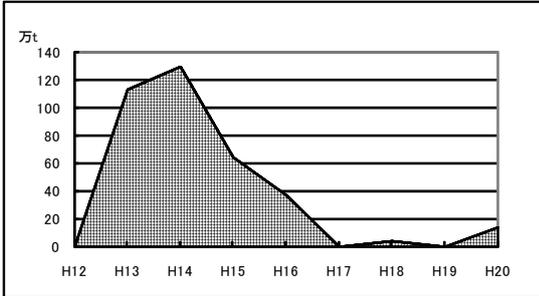
〔一般廃棄物統計〕



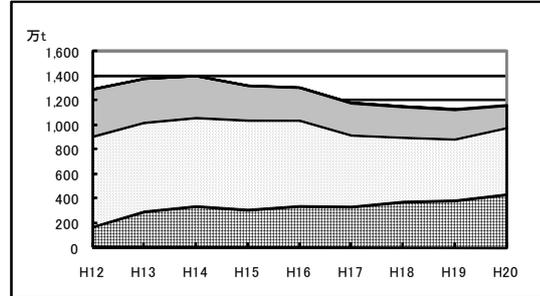
〔産業廃棄物統計〕



〔その他の廃棄物統計〕



〔全体〕



■ 最終処分量 □ 減量化量 ▨ 再生利用量

注) 〔その他の廃棄物統計〕 データは、一般廃棄物統計、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。

②廃油

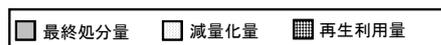
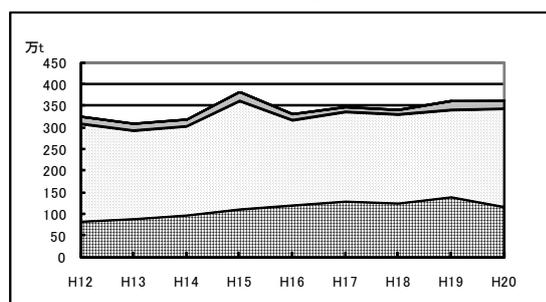
廃油の循環利用量等は、産業廃棄物統計とその他の統計データから推計されている。
全体では、排出量は横ばいで推移している。

図表 6-2-20 廃油の循環利用量等の推移

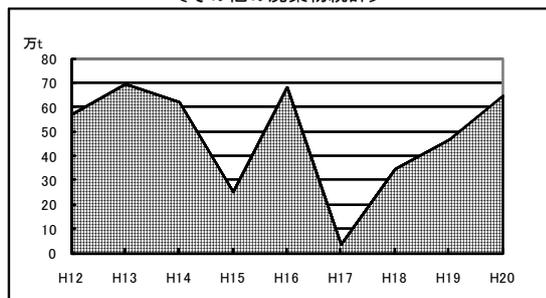
(単位:万t)

平成年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	処理率		構成比	
										処理率	構成比		
産業統計	排出量	325	309	319	382	331	347	341	361	362	100%	85%	
	再生利用量	84	90	98	112	122	130	126	140	118	33%	65%	
	減量化量	225	203	205	249	196	206	205	201	226	62%	100%	
	最終処分量	16	15	15	20	14	10	10	20	18	5%	100%	
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他統計	排出量	57	70	62	25	68	4	35	47	65	100%	15%	
	再生利用量	57	70	62	25	68	4	35	47	65	100%	35%	
	減量化量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	最終処分量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全体	排出量	382	378	381	407	399	351	375	408	426	100%	100%	
	再生利用量	141	160	160	138	190	134	161	187	182	43%	100%	
	減量化量	225	203	205	249	196	206	205	201	226	53%	100%	
	最終処分量	16	15	15	20	14	10	10	20	18	4%	100%	
	自然還元量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

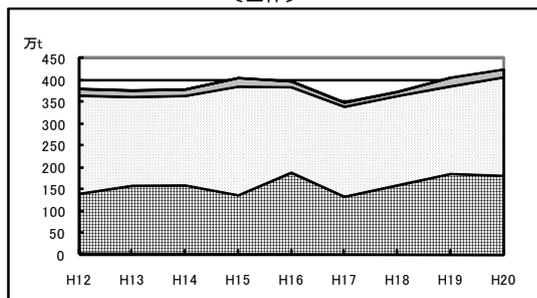
〔産業廃棄物統計〕



〔その他の廃棄物統計〕



〔全体〕



注) 〔その他の廃棄物統計〕 データは、産業廃棄物統計と重複するデータを排除した値である。